

日本赤十字豊田看護大学 授業見学

10月28日（金）1，2年生の保健委員は、学校保健委員会の活動の一環として、日本赤十字豊田看護大学で授業見学（講義および実習）を行いました。以下、生徒の感想です。

豊田市は親に聞いても災害は大丈夫だとは聞いていましたが、過去には災害が起こっており、やはりここも危険なのだと分かりました。災害救助においては、自助、共助、公助と言われますが、災害が起きた時は、まずは自分の命をまず優先して（自助）、その後に余裕が出来たら他の家族や周りの人を助ける（共助）ことが大切だと分かりました。



段ボールのベッドは、意外にパーツが多く、小さい箱を大きい段ボールに入れる時に、少し力を入れないと入らなかったもので、お年寄りの方や少ない人数だと組み立てに時間がかかるかもしれないなと思いました。今回組み立て方を学んだ私たちが積極的にお手伝いをしたいです。テントは、薄い素材で天井が開いたものが一般的だということも初めて知りました。中での会話は外に漏れやすいのでプライバシーの面では結構不安だと思いましたが、囲われている安心感がありました。

